

おきなわ発！ 情報×対話×ICTで育む未来の創造力



担当部署 ●産学連携推進センター 所在地 ●沖縄県島尻郡与那原町東浜1番地
TEL ●098-882-9001 MAIL ●mirai-it@owjc.ac.jp

事業目的

沖縄女子短期大学では、2020年4月の文部科学省学習指導要領改訂にあわせて2016年度より「プログラミング講座を通じた効果的なプログラミング教育の在り方に関する調査研究」を共同研究で実施している。

この共同研究は、プログラミング教育における教材・学習プログラムの開発と実践により、小学校段階におけるプログラミング教育の効果的な導入の課題解決を目的とした実践的研究となっている。

共同研究で開発した教材・学習プログラムを基に「おきなわ発！情報×対話×ICTで育む未来の創造力」と称した実証事業を展開しており、児童生徒がゲームプログラミングやドローンプログラミングなどのICT技術に触れながら、情報活用能力や論理的思考力、創造力を育むことを目的とした事業である。



事業内容

本事業では、沖縄女子短期大学を拠点として、開発した動画教材やオンライン学習ツールを活用した学習手法を取り入れ、親子プログラミング体験講座（受講1回完結型）およびプログラミングチャレンジスクール（受講3回完結型）を実施した。

講座は対面型の指導とオンライン教材を組み合わせることで、児童が自分のペースで学びながらプログラミングの理解を深められる学習環境を整備した。

開発した学習手法については小学校への出前授業等を通して普及を図り、子どもたちがデジタル技術を単に「使う力」にとどまらず、「創り出す力」へと発展させる学習機会を提供している。

これらの取り組みを通じて、地域の学校・企業・行政と連携しながら未来を担うIT人材育成の基盤づくりを推進している。





① 動画教材を活用した学習プログラム等の開発

プログラミング学習を効果的に進めるため、動画教材を活用した学習プログラムを開発し、児童生徒が自分のペースで学習できる環境を整備するとともに、学校や体験講座で活用可能な教材の整備を進めました。



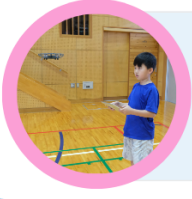
② 親子プログラミング体験（受講1回完結型）

児童と保護者が一緒に参加できるプログラミング体験講座を実施しました。ゲーム制作などの体験を通じ、プログラミングの楽しさやデジタル技術の理解を深める機会を提供しました。



③ 保護者を対象としたITセミナー

デジタル社会における子どもの学びやICT教育の重要性について理解を深めるため、保護者向けのITセミナーを開催しました。家庭での学習支援のヒントやデジタル教育の最新動向について情報提供を行いました。



④ プログラミングチャレンジスクール（受講3回完結型）

プログラミングの基礎から応用まで学ぶ講座を実施しました。Scratchなどを活用したゲーム制作やドローンプログラミングによる課題解決型の学習を通して、論理的思考力や創造力の育成を図りました。



⑤ 補助指導員（メンター）の育成

講座を支援する学生等を対象に、プログラミング教育や指導方法に関する研修を実施しました。次世代のIT教育を担う人材育成にも取り組んでいます。



⑥ 小学校等出前授業

地域の小学校等において、プログラミングやデジタル技術に関する出前授業を実施しました。学校の授業と連携しながら、児童生徒がICTに触れる学習機会の拡充を図りました。

沖縄女子短期大学の施設を活用し、体験型のプログラミング講座を年間58回実施した。講座は受講1回完結型とし、開発した動画教材を活用した学習プログラムとして運営した。講座は6月・7月・9月・11月・1月の5期に分けて開催し、各期ごとに異なるテーマの内容を提供した。また、講座とあわせて保護者を対象としたIT関連職業・就業に関するセミナーも実施した。講座運営は対面形式とオンライン教材形式を併用することで、台風接近などの影響を受けにくい運営体制を構築し、参加機会の拡大につなげた。

さらに、1回完結型講座を受講した児童を対象として、8月・10月・12月・2月に「プログラミングチャレンジスクール」を開催し、3回完結型の発展的な学習プログラムを計36回実施した。本プログラムについても対面とオンラインを組み合わせた形式とすることで、天候の影響を受けにくい継続的な学習機会を確保した。

加えて、オンライン教材を活用した指導方法や学習プログラムを学校教育現場へ普及させるため、小学校や公共施設など10か所において巡回授業を計31回実施した。実際の授業形式での実演を通して、多くの児童生徒にプログラミング学習の機会を提供するとともに、本事業の認知向上を図った。本年度はプログラミングチャレンジスクールおよび小学校での巡回授業において、ドローンプログラミングを取り入れた学習プログラムの拡充も行っている。

【受講1回完結型プログラミング体験講座告知チラシ】

シューティングゲーム
をつくろう

台風の季節
の季節

日時 7/5日、12日、19日、26日 定員 各回15名
1課 10:00~11:30 / 2課 13:00~14:30 / 3課 15:30~17:00

場所 〒901-1304 沖縄県島尻郡与那原町東1番地 沖縄女子短期大学

お申込はコチラ
お申し込みは、このQRコードをスマートフォンで読み取り、お申し込みフォームに記入していただきます。

お申し込みはコチラ
お申し込みは、このQRコードをスマートフォンで読み取り、お申し込みフォームに記入していただきます。

シューティングゲーム
をつくろう

海軍のアドベンチャー
の季節

日時 9/6日、13日、20日 定員 各回15名
1課 10:00~11:30 / 2課 13:00~14:30 / 3課 15:30~17:00

場所 〒901-1304 沖縄県島尻郡与那原町東1番地 沖縄女子短期大学

お申込はコチラ
お申し込みは、このQRコードをスマートフォンで読み取り、お申し込みフォームに記入していただきます。

お申し込みはコチラ
お申し込みは、このQRコードをスマートフォンで読み取り、お申し込みフォームに記入していただきます。

エイサー太鼓
アタック!!

台風から沖縄を守れ

日時 11/1日、8日、15日、29日 定員 各回15名
1課 10:00~11:30 / 2課 13:00~14:30 / 3課 15:30~17:00

場所 〒901-1304 沖縄県島尻郡与那原町東1番地 沖縄女子短期大学

お申込はコチラ
お申し込みは、このQRコードをスマートフォンで読み取り、お申し込みフォームに記入していただきます。

お申し込みはコチラ
お申し込みは、このQRコードをスマートフォンで読み取り、お申し込みフォームに記入していただきます。

FOKA FOKA
ムーチー
キャッチ!!

空気に負けなぞ!!
台風から沖縄を守れ

日時 1/10日、17日、24日、31日 定員 各回15名
1課 10:00~11:30 / 2課 13:00~14:30 / 3課 15:30~17:00

場所 〒901-1304 沖縄県島尻郡与那原町東1番地 沖縄女子短期大学

お申込はコチラ
お申し込みは、このQRコードをスマートフォンで読み取り、お申し込みフォームに記入していただきます。

お申し込みはコチラ
お申し込みは、このQRコードをスマートフォンで読み取り、お申し込みフォームに記入していただきます。

※2025年6月開催分はオフィシャルLINEおよびメールのみで告知

【事業実施の様子】



対面講座



保護者対象セミナー



小学校等巡回出前授業

事業成果

【プログラミング体験講座・プログラミングチャレンジスクール・小学校等巡回出前授業】

プログラミング体験講座等開催回数	94回
保護者セミナー開催回数	58回
小学校等巡回授業	31回
参加児童数合計（対面＋オンライン）	2,521名
参加児童目標達成率 （当初目標数1,850名）	120.0%
参加児保護者合計（対面）	433名

※交付申請時参加児童目標2,100名に対する達成率 120.0%
（対面型・オンライン教材型参加児童 2,521名 / 児童目標定員 2,100名）

【小学校等巡回出前授業 実施校】

・西原南小学校（西原町） ・伊良波小学校（豊見城市） ・豊崎小学校（豊見城市） ・浦添小学校（浦添市） ・大里南小学校（南城市） ・大里北小学校（南城市） ・陽明高校（浦添市） ・宜野座高校（宜野座村） ・牧志駅前ほしぞら公民館（那覇市） ・シャボン玉石けん くくる糸満（糸満市）

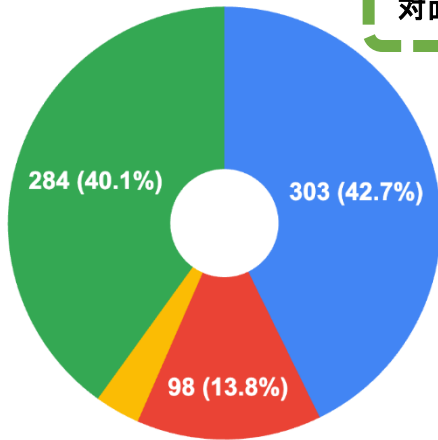
【事業後援機関】

・沖縄県教育委員会 ・那覇市教育委員会 ・与那原町教育委員会 ・西原町教育委員会 ・南城市教育委員会 ・浦添市教育委員会 ・八重瀬町教育委員会 ・中城村教育委員会 ・北中城村教育委員会 ・糸満市教育委員会 ・豊見城市教育委員会 ・南風原町教育委員会 ・宜野湾市教育委員会 ・沖縄市教育委員会 ・嘉手納町教育委員会 ・北谷町教育委員会 ・読谷村教育委員会（順不同）

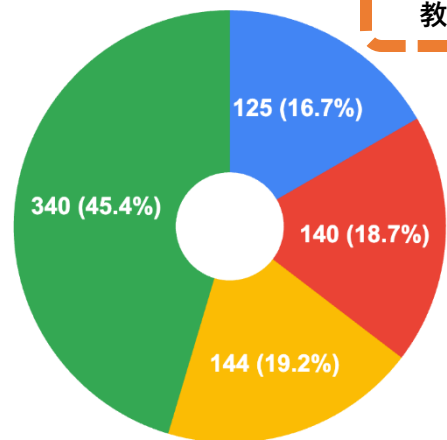
第1期～第5期プログラミング体験講座 アンケート結果

「今回は何回目の参加ですか？」の回答

- はじめて
- 2回目
- 3回目
- 4回目以上

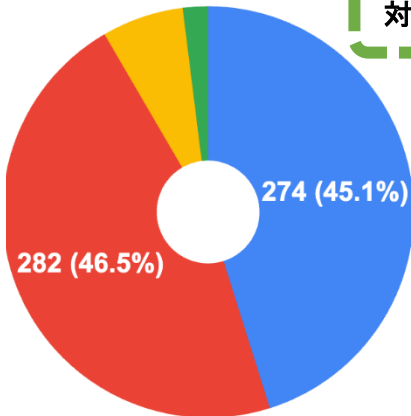


**オンライン
教材型**

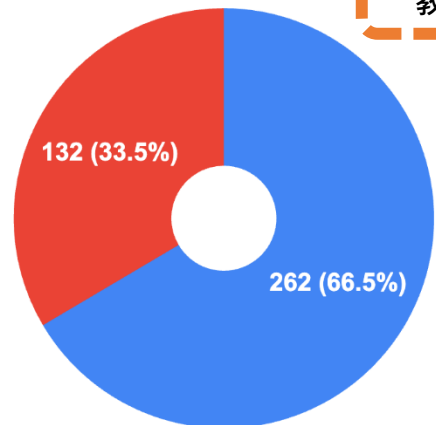


「今回の体験は楽しかったですか？」の回答

- とても楽しかった
- 楽しかった
- 普通
- とても楽しなかった

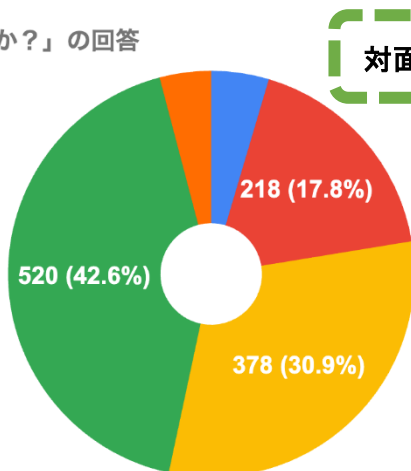


**オンライン
教材型**

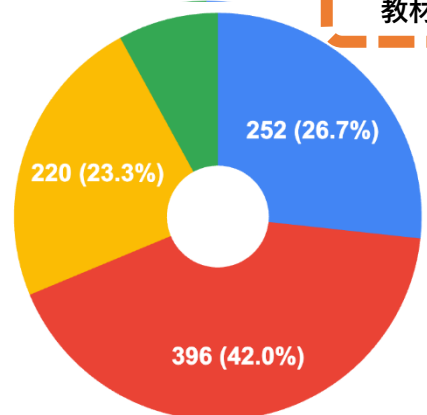


「むずかしかったですか？」の回答

- とても簡単だった
- 簡単だった
- 普通
- 難しかった
- とても難しかった



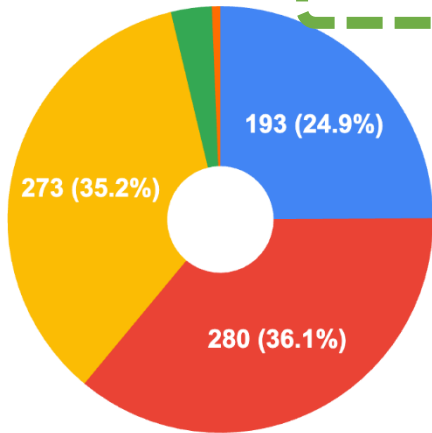
**オンライン
教材型**



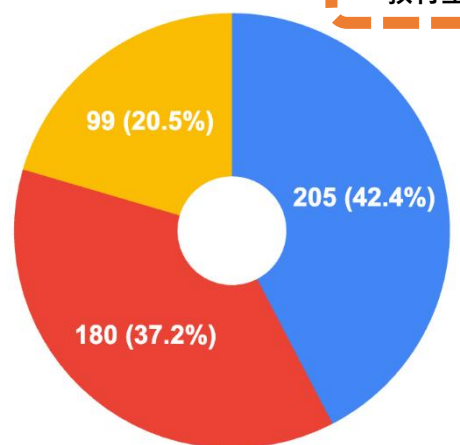
「動画の説明や速さはどうでしたか？」の回答

対面型

- とても良かった
- 良かった
- 普通
- 良くなかった
- とても良くなかった



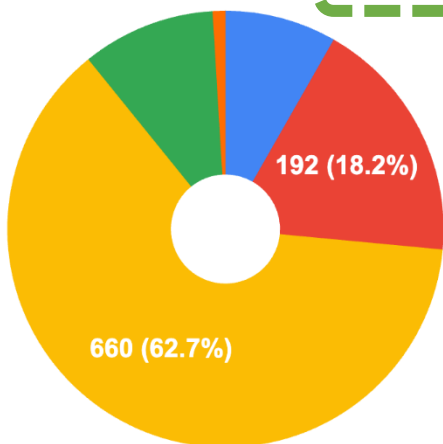
オンライン教材型



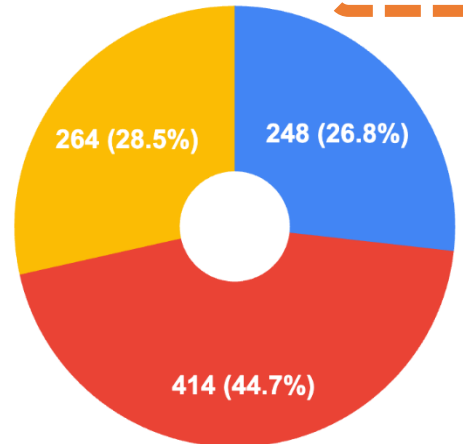
「体験時間はどうでしたか？」の回答

対面型

- とても短い
- 短い
- 普通
- 長い
- とても長い



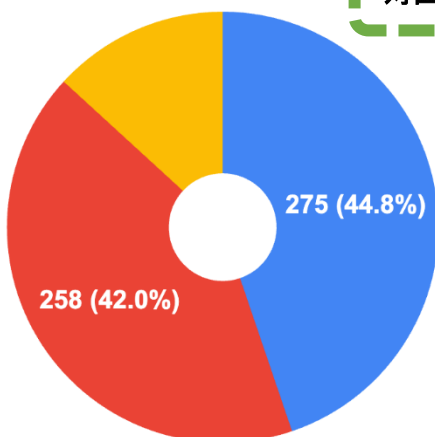
オンライン教材型



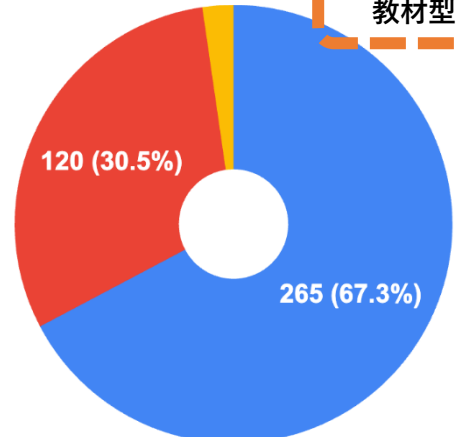
「プログラミングをもっとやりたいですか？」の回答

対面型

- もっとやりたい
- 機会があればやりたい
- 普通



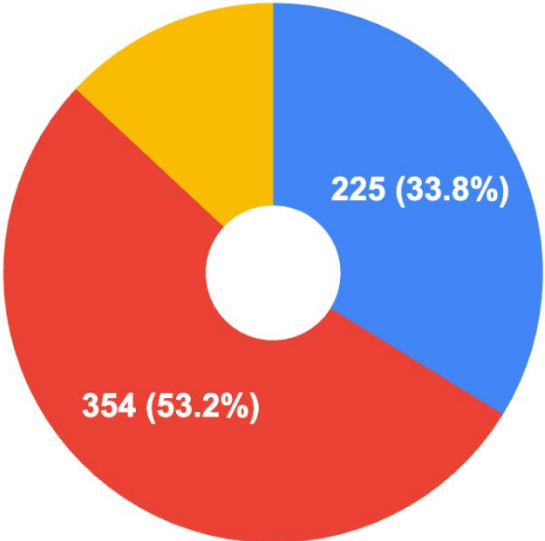
オンライン教材型



対面型

「先生たちはどうでしたか？」の回答

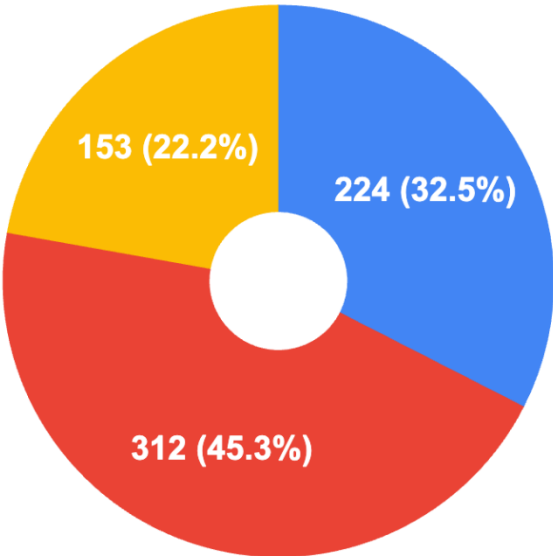
- とても良い先生たち
- いい先生たち
- 普通



対面型

「保護者セミナーはいかがでしたか？」の回答

- とても良かった
- 良かった
- 普通





「子どもがとても楽しそうに参加しており、パソコンやプログラミングに興味を持つきっかけになりました。普段気づかなかった理解力や得意なことも見えて、参加してよかったと思いました。」



「思っていたよりも子どもが内容を理解して操作できていて驚きました。参加するたびに自分でアレンジできるようになり、成長を感じることができてうれしかったです。」



「難しい部分もありましたが、先生方が丁寧にサポートしてくださり、最後までゲームを完成させることができました。とてもわかりやすく、安心して取り組むことができました。」



「親子で一緒に体験できたことで、子どもが何を学んでいるのか理解できてとてもよかったです。保護者も一緒に学べる機会になり、子どもの話題についていけるきっかけになりました。」



「プログラミングはこれからの時代に必要なスキルだと感じました。論理的思考を身につけるよい教材だと思い、子どもに今後も学ばせたいと感じました。」



「とても良い体験だったので、今後も継続して学べる講座や定期的なプログラミング教室があれば参加させたいです。機会を増やしていただけると嬉しいです。」



「ドローンプログラミングやAIの活用、タイピングなど、さまざまな内容の体験講座があればぜひ参加させたいです。初級だけでなく中級レベルの講座もあるとありがたいです。」



「体験講座のテーマとしては、ChatGpt系のAIの活用の仕方、動画処理系のAIの活用方法、使い方などを学ばせたい。」



「保護者セミナーでもこれからの時代の流れsociety5.0の話はとても面白かったです。将来のキャリア形成に関する体験ができれば参加させたいです。」



「AI時代の教育や情報リテラシー、家庭でのサポートの仕方などについて、保護者向けのセミナーがあると学びたいと思いました。」



「子どものパソコン利用やゲームとの付き合い方、長時間利用による視力への影響などについても知る機会があるとありがたいです。」



本事業では、動画教材やオンライン学習ツールを活用した学習プログラムの開発と実践を通して、児童がプログラミングの基礎を学びながら、デジタル技術を「使う力」から「つくり出す力」へと発展させる学習機会の創出に取り組んできた。令和7年度は、沖縄女子短期大学を拠点とした講座に加え、「牧志駅前ほしぞら公民館（那覇市）」および「シャボン玉石けんくくる糸満（糸満市）」などの施設を活用したサテライト型講座を実施し、地域の児童が参加しやすい学習環境の拡充を図った。今後もこのような地域施設を活用した取り組みを継続し、施設管理機関との連携を図りながら、地域に開かれたデジタル学習機会のさらなる拡充を目指していく。

また、これまでビジュアルプログラミングツール「Scratch」を中心に学習プログラムを展開してきたが、令和7年度はプログラミングチャレンジスクールおよび小学校等への出前授業においてドローンプログラミングを導入し、プログラミングの活用領域の拡大を図ることができた。今後は、ドローンやロボットなどを活用した実践的なプログラミング学習の充実を図り、児童が課題を発見し、試行錯誤を通して解決策を考える学習プロセスを取り入れることで、主体的・協働的な学びをさらに促進していく。

さらに、保護者アンケートでは、情報リテラシー教育の充実に加え、生成AIの活用や動画・画像処理など、デジタル技術の適切な活用方法を学ぶ機会を求める意見が多く寄せられた。一方で、デジタル機器の長時間利用による影響など、子どもたちとデジタルとの適切な関わり方について学ぶ必要性も指摘されている。こうした課題を踏まえ、今後は情報リテラシー教育の充実を図るとともに、生成AIなどの新しい技術についても、文部科学省の方針を踏まえながら専門家の助言を得て、段階的に学習プログラムへ取り入れていくことを検討している。

また、本事業の継続的な発展を見据え、連携企業とともに事業の自走化に向けた検討・協議を進めている。今後は、本事業で開発した教材や学習プログラムを活用したスクール運営を企業が主体となって担い、本学と連携しながら地域の子どもたちに継続的な学びの機会を提供する体制の構築を検討している。

加えて、今後の教育プログラムでは、プログラミングなどのITスキルの習得に加え、起業家教育やデジタルリテラシー、非認知能力の育成を統合したカリキュラムの開発を進める。大学・企業・地域が連携した学習モデルの構築を通して、児童が主体的に学び、社会課題の解決に挑戦できる力を育む教育環境の整備を進め、沖縄県の未来を担うIT人材の育成につなげていく。

